

(案)

主要地方道松戸野田線の流山市域における新川耕地の4車線化等の渋滞対策を求める意見書

主要地方道松戸野田線は、昭和52年に開通した旧松戸野田有料道路で、平成19年度に無料化されて以降、市街地を通過する旧県道松戸野田線のバイパス利用として、交通量が増加している。

千葉県には、令和4年8月29日の千葉県知事による現場視察を経て、令和7年度に野田市今上交差点の左折レーン延長工事が行われたことは大いに評価する。

沿道に日本最大級の巨大物流施設が稼働したことで、周辺地域も含め事業所の進出や土地利用が活発化し、流山市が含まれる松戸県税事務所管内の事業税や不動産取得税の増加は県内でも大きく、県税収入増加要因の一つとなっている。

しかし、物流施設稼働により大型車両を中心とした、更なる交通量の増加により渋滞が常習化していることから、交通の円滑化を図り、地域が更なる千葉県の発展に寄与できるよう、交通容量の拡大のため主要地方道松戸野田線の流山市域における新川耕地の4車線化を含む渋滞対策を求める。

令和 年 月 日

千葉県知事 様

千葉県流山市議会